

## 子どもの健やかな育ちを支える環境の充実

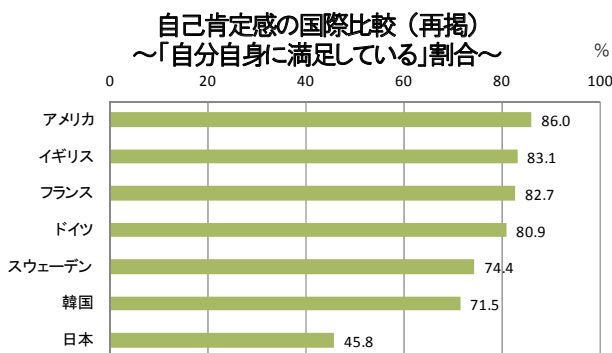
### めざす姿

地域の人々に支えられながら、放課後の地域活動が活発に展開されており、思春期の子どもたちが多様な世代の人々と関わる機会に恵まれています。自分を大切にする気持ちや思いやり、困難に直面しても子ども自身の力で乗り越えられる力が育まれています。青少年の支援に向けたネットワークや環境が整っており、子どもたちがそれぞれの悩みや課題を乗り越えながら自立に向けて成長しています。

### 現状と課題

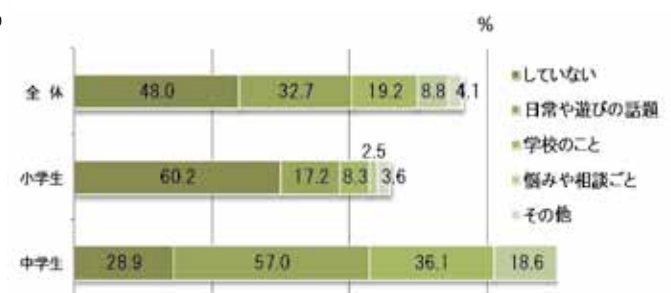
- ・子どもは、誰もが自分を高めたい、よりよい大人になりたいという願いを持っています。それを伸ばし活かしていくのが、家庭や学校、地域の大人の力です。近年、家庭のあり方が多様になり、人とのつながりが希薄になる中で、子どもが自分を認めてくれる身近な人に出会い、自己肯定感を育むことが難しくなっています。
- ・本市は、子どもの放課後の居場所として、12 か所の児童館を運営するとともに、1小学校区に1学童保育所の設置や地域の協力による放課後子ども教室の実施を行ってきました。今後は、すべての子どもが様々な体験活動に参加できるよう、学童保育所と放課後子ども教室を連携して実施していく必要があります。
- ・本市では、子どもの健全育成に寄与する団体が多く活動しており、子どもが多様な人との関わりや活動を通じて、子ども自身の力で思春期の悩みや課題を乗り越え、成長することができる環境づくりを行っています。
- ・携帯やスマホを利用する子どもが増える中、子どもが有害情報にアクセスしたり犯罪やトラブルに巻き込まれたりするケースも増えています。子どもが自ら身を守ることができるよう、メディアリテラシー（情報活用能力）育成への取り組みが重要になっています。
- ・子どもの心身に重大な危害を及ぼす恐れのある薬物が、インターネットなどにより、子どもの手に届く範囲にも広がっており、その対策が求められています。
- ・家族や地域とのつながりが希薄化している中、人との関わりや就労に困難を抱え、社会的な自立が難しい青少年が増えています。子どもの頃から社会の一員としての意識が持てる機会の充実や、社会参加から就労まで、段階的にステップアップしていくための支援が求められています。

### データ



出典：内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査（満13～29歳を対象）」（平成25年度）

### 他人とのメール・LINE・SNSなどの利用状況（複数回答）



出典：八王子市「小・中学生を対象としたアンケート調査」（平成25年度）

### 関連計画

教育振興基本計画・生涯学習プラン・産業振興マスタープラン

施策 10 放課後の健やかな育ちを支える活動場所の充実

重点施策 5

- ・小学校の施設を活用し、保護者や地域の参画を得て放課後の安全で安心な子どもの居場所を提供し、子どもがいきいきと放課後の時間を過ごせるよう、放課後子ども教室の実施校や実施日を増やしていきます。
- ・学童保育所に通う子どもたちも含め、すべての子どもたちが、地域の人とのふれあいや体験プログラムに参加できるよう、「放課後子ども総合プラン」\*に基づき、放課後子ども教室と学童保育所を一体的に推進していきます。実施にあたっては、教育委員会との連携により、学校施設の活用などの具体的な実施方策を確保していきます。
- ・放課後子ども教室の充実により、長期休業中の子どもの居場所づくりを進めていきます。
- ・小学生から高校生までの年齢層が、地域の身近な場所で自主的な活動や子ども同士の交流によりいきいきと過ごせるよう、児童館の活動を充実するとともに、児童館のない地域には出張活動を行っていきます。

【主な取り組み】

- **放課後子ども教室の拡充** 学校施設を活用し、家庭や地域の協力により実施している放課後子ども教室の実施校や実施日を拡充します。
- **一体型の学童保育所・放課後子ども教室\*の充実** 放課後に様々な体験活動に参加できるよう、「一体型の学童保育所・放課後子ども教室」の実施を推進します。

その他の取り組み：八王子型児童館事業の充実

【指標】

施策	指標	内容	現状値	29年度	31年度
10	放課後子ども教室 実施校数	放課後子ども教室の実施校の拡充	56校	69校	69校
		うち、週5日実施する学校数の拡充	9校	30校	45校
	放課後子ども総合プラン 一体型実施校数	一体型の学童保育所・放課後子ども教室の推進	30校	43校	43校

事業計画

3く3く★コラム

子ども×農業

八王子には、由木地域の里山を拠点とし、農業を軸にしたまちづくりに取り組む10代～30代の若者たち(株式会社FIO)がいます。日々の生活の中に安全で安心な食べ物が当たり前のようにあることが大切だから、身近な地域で育てられた農産物を地域の方々に食べてもらいたいと、2012年にここ八王子で就農しました。

子どもたちに、畑で野菜をつくる喜びと食べる喜びを知ってほしい、「農業がカッコイイ！」と思ってほしい。そんな思いから、FIOでは、親子が畑で泥んこで農作業をするイベントを企画したり、地域の中学生の職場体験を受け入れたりしています。とある日の中学生たちは、ニンニクの植付けやヤギや牛の世話、空芯菜の収穫や袋詰め作業などを体験。

FIOでは他にも、様々な業種との協働により農業の魅力を伝えたり、大学生のインターンシップも受け入れたりしています。まちと畑を行き来し、地域と顔が見えるオープンなコミュニケーションにより、農業が子どもたちの憧れとなるような、新たな取り組みが八王子で始まっています。



株式会社FIO 代表取締役 船木 翔平さんからのメッセージ

子どもたちには、実際に土に触り、野菜の香りや美味しさを畑で味わいながら、十分に楽しんでもらいたいと思います。

虫がいる畑や生き物がたくさんいる田んぼは、子どもたちにとって「最高の遊び場」です。目で見る発見、畑や野菜の匂い…など、全身で感じる場所だからこそ、これらの体験が記憶に残り、子どもたちの成長につながっていきます。これからも農業を通じて、子どもたちの成長を応援していきます。